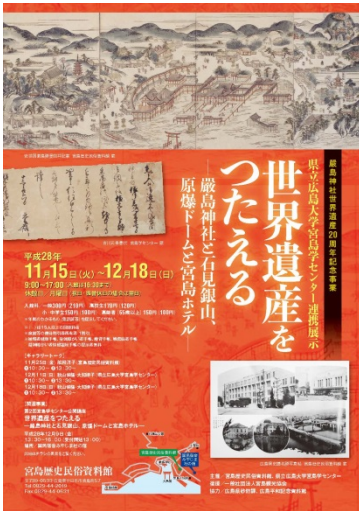


平成 28 年度 宮島歴史民俗資料館連携企画展示報告

- 期 間：平成 28 年 11 月 15 日～12 月 18 日
- 会 場：宮島歴史民俗資料館
- テーマ：「世界遺産をつたえる—厳島神社と石見銀山、原爆ドームと宮島ホテル—」



厳島神社が世界遺産に登録されて 20 年という節目の年、世界遺産登録二十周年記念事業の一つとして連携企画展示をおこないました。

世界文化遺産厳島神社の価値や魅力をさらに伝えるために、まず、同じ世界遺産である石見銀山との「かかわり」を明らかにしました。原爆ドーム（建設当時は広島県物産陳列館）は厳島神社と直接の関わりはありませんが、設計者のチェコ人ヤン・レツルは宮島ホテルも手がけています。また、原爆投下直後の枕崎台風は厳島神社にも大きな被害をもたらしました。復旧工事は困難を極めました、多くの関係者の努力で美しい姿を取り戻しました。展示では先人が貴重な文化財や自然環境を守り伝えるために続けてきた営みを紹介しました。展示期間中、延べ 1,853 名の方が来場されました。

展示の関連事業として 11 月 18 日に宮島学センター公開講座「世界遺産をつたえる—厳島神社と石見銀山、原爆ドームと宮島ホテル—」（講師：秋山伸隆 宮島学センター長）を実施し、講座の後半では田淵五十生福山市立大学教授と大知徳子宮島学センター助教を加えた対談をおこないました。



また、展示期間中には宮島歴史民俗資料館の船附洋子さん、秋山伸隆センター長、大知徳子助教によるギャラリートークもおこないました。

